

事業シート(平成30年度予算)

事業名	20940 東京事務所運営事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	6	協働・行政	市長公約
			款	2	総務費		個別分野	3	行財政運営	
			項	1	総務管理費		施策概要	1	効率的・効果的な行政運営の推進	
			目	9	企画費		根拠計画			
担当課	企画部	ブランド戦略課	内線	2278						

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> 首都圏における日常的な活動拠点の確保、情報収集・発信機能の強化 国内外での地場産品の販路拡大、飛騨高山ブランドの強化 	概要	<ul style="list-style-type: none"> 東京事務所を設置し、府省や関係団体等との連絡調整を行うほか、情報収集及びシティセールスその他の市政推進に資する活動を行う
----	---	----	--

総合計画等 主な指標	H28実績	H29実績	H31目標

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	H28			H29		
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
	9,298	7,457	9,254			
特定財源						
国費()						
県費()						
その他()		396				
一般財源	9,298	7,061	9,254			
個票枝番	主な事業内容					
運営費	5,098	3,257	5,054			
政策顧問の設置	4,200	4,200	4,200			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.平成30年度予算編成(Action)

(千円)

H30		実施計画額		9,500
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
9,214	9,254	9,254	0	
9,214	9,254	9,254	0	
査定額	説明			
5,054				
4,200	政策顧問報償費			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成28年度事業実績、評価等(Check) H29.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 政策顧問の設置 市の首都圏活動支援、メディア仲介・市内旅行事業者サポートなど誘客促進、物販・レストランフェア・野菜の加工食品商品化・新規出店サポートなど販路開拓支援、市への投資関心の情報収集・フォロー、他都市や飛騨地域出身者との交流促進、戦略派遣職員の一元的管理など
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 現地(東京)でないと難しいネットワークの拡大、維持を図り、高山市のプレゼンス向上にも寄与している。 主体的に行う誘客促進、販路開拓支援の活動にとどまらず、本庁の首都圏業務の調整等の窓口として機能している。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H28完了 <input type="checkbox"/> H29完了予定 <ul style="list-style-type: none"> 東京事務所を拠点とし、高山市の首都圏活動の調整や発信の窓口としての役割果たしていくとともに、引き続き飛騨高山ブランドの情報発信や販路拡大を図る。

5.平成29年度事業実績、評価等(Check) H30.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H29完了 <input type="checkbox"/> H30完了予定

施策の実施方針	
担当課予算要求ポイント	
財務部査定の考え方	・要求どおり
市長査定の考え方	・財務部査定のとおり

事業シート(平成30年度予算)

事業名	21550 飛騨高山ブランド戦略推進事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	1	産業・労働	市長公約	・優れたメイド・イン飛騨高山の商品・製品を創出する試みを支援します。 ・メイド・イン飛騨高山の商品・製品・技術であることの認証基準を策定し、審査と飛騨高山ブランドの認証を進めます。また、大都市圏へのセールス強化やインターネット通販の立ち上げなどを通じ、市場開拓を強化します。
			款	2	総務費		個別分野	2	商業		
			項	1	総務管理費		施策概要	3	新たな商業の創出		
			目	15	ブランド戦略推進費		根拠計画	飛騨高山ブランド戦略			
担当課	企画部	ブランド戦略課	内線	2278							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<p>・飛騨高山ブランドコンセプト「飛騨高山の風土と飛騨人の暮らしが生み出す本物 それが飛騨高山ブランド」に基づき、市内の事業者や団体等の飛騨高山ならではの商品やサービスのブランド化の取り組みを支援するとともに、飛騨高山の有する様々な魅力や価値を市民や事業者とともに再評価し、磨き上げることで、飛騨高山に対する誇りの醸成や地域経済と地場産業の活性化を図る。</p>	概要	<p>・飛騨高山ブランドコンセプトに基づいたインナーブランディングの推進 ・外部有識者を活用し、ブランド戦略およびメイド・バイ飛騨高山認証制度の策定、運用 ・地域団体商標制度を活用したブランド展開事業または地域ブランド確立に向けた新商品開発・販路開拓事業等に対して補助金を交付</p>
----	--	----	--

総合計画等	主な指標	H28実績	H29実績	H31目標

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		H28		H29		
		最終予算	決算 (a)	当初予算 (c)	最終予算	決算 (b)
		28,770	15,387	21,840		
特定財源	国費 ()					
	県費 (販路開拓支援事業補助金(1/2) 等)	2,000	3,000	2,000		
	その他(飛騨高山ふるさと基金繰入金)	10,170	5,372	1,900		
一般財源		16,600	7,015	17,940		
個票枝番	主な事業内容					
	経済観光アドバイザー					
	飛騨高山ブランド戦略会議	620	770	580		
◎ 1	インナーブランディングの推進			2,960		
	新商品開発、見本市出展等のブランド展開に対する支援	19,300	8,830	18,300		
	飛騨高山フェアの開催、飛騨高山ブランドのPR映像の制作	5,230	4,654	0		

4.平成30年度予算編成(Action)

H30		実施計画額		25,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減 (d)-(c)	
26,675	25,410	25,410	3,570	
2,000	2,000	2,000	0	
	3,900	3,900	2,000	
24,675	19,510	19,510	1,570	
査定額	説明			
1,650	商工費より移行			
580				
4,880	ものづくりから紐解く飛騨高山再発見プロジェクト			
18,300				

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成28年度事業実績、評価等(Check) H29.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・飛騨高山ブランド戦略推進本部会議の開催 3回 ・飛騨高山ブランド戦略会議の開催 3回 ・経済観光アドバイザー有識者会議の開催 3回 ・飛騨高山フェアの開催(イオン名古屋ドーム前店) 延べ4日間開催 ・ブランド確立計画に基づく見本市の出展事業及び人材育成事業に対して支援(2件 530千円) ・飛騨高山PR映像の制作 ・飛騨高山ブランド研修会、出前講座等の開催(第1回飛騨の家具、第2回飛騨の酒等 参加者421人)
評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や事業者へのブランド戦略を浸透させるために広報たかやま等による情報発信や地域になじみのある地場産業の取り組みを知っていただく研修会、出前講座等を実施してきたが、まだまだインナーブランディングの取り組みが不足している。研修会のアンケート等では、実施内容の評価が好評だったこともあり、引き続き内容を精査し、地道に取り組んでいくことが必要である。 ・補助金を活用して、飛騨高山産品のブランド力の強化を図っていただいたが、まだまだ補助金の活用件数が低い。 ・ブランド戦略会議等を通じて認証制度の構築を目指したが、制度の創設に至らなかった。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・市民が気軽にブランド戦略を意識できるような参加型事業(ブランド再発見ツアーワークショップ等)の実施や各部署の事業を通じてブランド戦略をしっかりとPRしていく。 ・ブランド戦略について、次世代を担う高校生等の若年層にも周知していく。 ・飛騨高山ブランド振興補助金の活用促進を図るため、広報等を通じて事業者にPRしていく ・市内の事業者団体と積極的に意見交換を行い、インナーブランディングの推進やメイド・イン・飛騨高山認証制度の創設に繋げていく。

5.平成29年度事業実績、評価等(Check) H30.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H28完了 <input type="checkbox"/> H29完了予定

施策の実施方針	・ブランドカの高いものづくりの推進
担当課予算要求ポイント	・インナーブランディング事業費の増
財務部査定の考え方	・積算内容を精査 経済観光アドバイザーに要する経費は商工費より移行
市長査定の考え方	・財務部査定のとおり

主要事業個票(平成30年度予算)

事業名	21550 飛騨高山ブランド戦略推進事業費	区分	<input type="checkbox"/> H29新規	<input type="checkbox"/> H30新規	予算	会計	1	一般会計	担当課	ブランド戦略課
枝番・内容	1 インナーブランディングの推進		<input type="checkbox"/> H29拡充	<input checked="" type="checkbox"/> H30拡充		款	2	総務費		
			<input type="checkbox"/> その他重要事業			項	1	総務管理費	内線	2278
			<input type="checkbox"/>			目	15	ブランド戦略推進費	作成年月	H29.8

事業の目的・概要(Plan)

目的	・飛騨高山ブランドコンセプト「飛騨高山の風土と飛騨人の暮らしが生み出す本物 それが『飛騨高山ブランド』」に基づき、飛騨高山の有する様々な魅力や価値を市民や事業者とともに再評価し、磨き上げることで、飛騨高山に対する誇りの醸成や地域経済と地場産業の活性化を図る。	概要	・メイド・バイ飛騨高山認証制度の運用 ・地域の魅力体感ツアーの実施 ・ものづくりから紐解く飛騨高山再発見プロジェクト ・飛騨高山ブランド研修会の実施 ・ものづくりのまち飛騨高山の発信
----	---	----	---

【参考】H28決算(Do-Check) H29.8時点 (千円)

予算額	当初	0
	繰越	0
	補正等	0
	最終	0
決算額		0
対前年度増減額(決算)		

【参考】H29当初予算(Action) H29.3時点 (千円)

予算額	当初	2,960
主な経費	・飛騨高山ブランド研修会講師(謝礼、旅費等) ・地域の魅力体感ツアーの実施(バス借上げ料等) ・メイド・イン・飛騨高山認証制度の検討、運用(印刷製本費等)	
	対前年度増減額(当初予算)	
		2,960

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

H29決算(Do-Check) H30.8時点 (千円)

予算額	当初	
	繰越	
	補正等	
	最終	
決算額		
対前年度増減額(決算)		

H30当初予算(Action) (千円)

予算額	当初	4,880
主な経費	・飛騨高山ブランド研修会講師 ・地域の魅力体感ツアーの実施 ・メイド・バイ飛騨高山認証制度の運用 ・ものづくりから紐解く飛騨高山再発見プロジェクト 等	
	対前年度増減額(当初予算)	
		1,920

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績・評価等	
<p>次年度以降の考え方(担当課)</p> <input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H28完了 <input type="checkbox"/> H29完了予定	

事業内容、スケジュール	
<p>[事業内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・飛騨高山ブランド研修会 飛騨高山のもつ魅力や価値を再認識し、磨き上げるために、市外の有識者や市内の地場産業の担い手等による研修会を実施。また、市内高校と連携し、将来の飛騨高山を担う高校生と飛騨高山ブランドについてのワークショップを行う。 ・地域の魅力体感ツアー 地域住民が選定した地域の魅力を体感できる市民ツアーを実施し、他地域の住民による地域資源の評価や発見してもらうことにより、地域の誇りを醸成する。 ・メイド・イン・飛騨高山認証制の検討、運用 飛騨高山ブランド戦略会議、飛騨高山ブランド戦略推進本部員会議等を通じて、認証制度を構築し、制度を運用する。 <p>[スケジュール]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・飛騨高山ブランド研修会(H29年度秋～冬) ・地域の魅力体感ツアー(H29年度夏～秋) ・メイド・イン・飛騨高山認証制の検討、運用(H29年度内) 	

事業実績・評価等	
<p>次年度以降の考え方(担当課)</p> <input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H29完了 <input type="checkbox"/> H30完了予定	

事業内容、スケジュール	
<p>[事業内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・飛騨高山ブランド研修会 飛騨高山のもつ魅力や価値を再認識し、磨き上げるために、市外の有識者や市内の地場産業の担い手等による研修会を実施。また、市内高校と連携し、将来の飛騨高山を担う高校生などと飛騨高山ブランドについてのセミナーを行う。 ・地域の魅力体感ツアー 地域住民が選定した地域資源や価値を地域外の市民が体感できるツアーを実施し、地域資源の魅力や価値を共有するとともに、地域資源を活かした地域づくりに繋げる。 ・ものづくりから紐解く飛騨高山再発見プロジェクト 飛騨高山の若手職人や作家が、外部有識者とともにものづくりの現場を取材し、その成果を報告書にまとめ、教育機関や事業者団体、地域の社会教育団体等と共有することで、ものづくり人材の育成や飛騨高山の魅力や価値の再発見に繋げる。 ・メイド・バイ飛騨高山認証制の運用 飛騨高山ブランドを構成する独自性、信頼性のある商品を確認し、認証した商品を積極的にPRしていく。 <p>[スケジュール]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・飛騨高山ブランド研修会(H30年度時期未定) ・地域の魅力体感ツアー(H30年度夏～秋) ・メイド・バイ飛騨高山認証制の運用(H30年度中) ・ものづくりから紐解く飛騨高山再発見プロジェクト(平成30年度内) 	

事業シート(平成30年度予算)

事業名	21570 移住交流促進事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	6	協働・行政	市長公約
			款	2	総務費		個別分野	2	交流	
			項	1	総務管理費		施策概要	2	移住の促進	
			目	15	ブランド戦略推進費		根拠計画			
担当課	企画部 ブランド戦略課	内線	2278							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	都市住民の移住を促進し、都市住民と地域住民との交流の場を増加させ、移住者の知識、経験等を活かした新たな地域づくりによって地域力の向上を図る。	概要	1) 移住相談窓口の設置 2) 助成事業(住宅支援、就農移住支援) 3) 効果的なPR活動を展開 4) ふるさと暮らし体験施設「秋神の家」の開設
----	--	----	---

総合計画等 主な指標	H28実績	H29実績	H31目標
新規移住者数年間	308人		200人

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	H28		H29			
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
	9,006	8,184	10,242			
特定財源						
国費()						
県費(ふるさと暮らし・移住促進事業費(1/3))						
その他(財産収入ほか)	4,414	4,037	4,414			
一般財源	4,592	4,147	5,828			
個票枝番	主な事業内容					
	ふるさと体験住宅の活用	920	408	1,692		
	移住者の家賃、空家の購入改修に対する支援	8,000	7,676	8,000		

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.平成30年度予算編成(Action)

(千円)

H30		実施計画額		9,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
13,151	9,204	9,204	△ 1,038	
600	500	500	500	
514	514	514	△ 3,900	
12,037	8,190	8,190	2,362	
査定額	説明			
1,104				
8,000				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成28年度事業実績、評価等(Check) H29.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・移住相談会、セミナーでの移住相談の実施(東京、大阪、名古屋) ・飛騨高山ふるさと暮らし・移住促進事業補助金の交付(家賃補助16件、取得・改修7件) ・ふるさと体験施設「秋神の家」の利用(9世帯19人)
評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと暮らし・移住促進事業補助金については目標値に達し多くの方にご利用いただいている。 ・移住者実績は308人(県外からの移住者は242人)となり、県内においては1位という結果になった。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・他の自治体との差別化を図るべく、地域性を活かしたプロモーション活動を行う。 ・補助制度のみではなく、受入体制の構築など、総合的な移住支援を民間等と連携しながら検討していく。
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H28完了 <input type="checkbox"/> H29完了予定

5.平成29年度事業実績、評価等(Check) H30.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H29完了 <input type="checkbox"/> H30完了予定

施策の実施方針	・移住定住の促進
担当課 予算要求 ポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと体験施設の管理に必要な経費を計上 ・飛騨高山のものづくりの担い手となる人材の移住定住の促進に要する経費を計上
財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに